



# 日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和5年 5月 2日  
第 2 号  
さいたま市立日進中学校  
TEL 048-663-1251  
FAX 048-663-0834

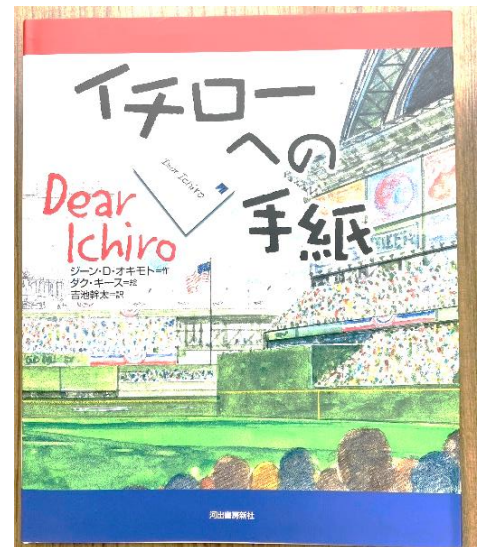
## 『イチローへの手紙』

校長 小熊 誠

新学期が始まり約1ヶ月が経ちました。毎朝正門で生徒たちの言葉だけではない、会釈もしながらの心のこもった元気なあいさつ、本当に気持ちの良い1日の始まりです。4月21日には、仮入部帰りの1年生が、学校付近で迷子になっていた幼児を家まで送り届けてくれたという嬉しいニュースも入ってきました。その幼児のお母さんからお礼の連絡がありました。本当に素晴らしい生徒たち、日進の自慢がまた増えました。校内でも、少し大きな制服で、キョロキョロ辺りを見回しながら歩いている1年生、後輩ができ、いい味を出そうと、心もち前より胸を張って歩いている感じの2年生、日進の顔として自覚が見え始めしっかりと前を向いて歩きだしている3年生、それぞれですが、少しずつ新しい仲間、先生、クラス、部活にも慣れ始め、学校の主役が、何とか主役らしく歩み始めたようです。しかしそれに伴い、友だちとの小さな行き違いも始まりだしたかもしれません。実は、5月～6月の時期は、心が悲鳴を上げやすい時期とも言われています。そこでさいたま市では6月を「いじめ撲滅強化月間」と定め、市をあげて子どもたちの心のケアにあたっています。本年度日進では、今のこの時期が、生徒たちが人間関係の基を築き、「学校が大好き」になる一番の機会ととらえ、5月から取組を始めます。

今号では、朝礼で読み聞かせをしようと考えている『イチローへの手紙』という本を紹介します。この春休み、皆様は、WBCで盛り上がったことと思います。私も感動しました。その野球をモチーフにした話です。登場人物は、主人公のヘンリーと友達のオリバー、そしてヘンリーのひいおじいちゃんのチャーリーです。チャーリーがヘンリーに言った、「心の傷は治るんだよ」「仲直りするのに必要なのは、時間だけじゃないぞ。相手のことを思いやることも大切だ。お互いにね。それが一番大事なことだ。」「仲直りするには心が正しい状態(心が開かれた状態)になきゃいけないんだ。」という言葉が心に刺さりました。私は、このお話のテーマは「許す」ということだと考えています。子ども同士の喧嘩であれ、大人同士の争いであれ、国同士の戦争であれ、「許す」ということはとても勇気が要る難しい行為であると思います。生徒たちがこのお話に触れ、相手を許す勇気を、そして許した後に一緒に前に進む大切さを感じてくれたら幸いです。それが、「生徒の、生徒による、生徒のための学校」を創りあげ、「希望の登校 笑顔の活動 満足の下校」を実現する一番の近道となるはずです。

中学校の3年間、生徒たちにはいろいろなことがあります。嬉しいこと、楽しいことばかりではありません。イヤなこと、辛いことにも出くわすかもしれません。そんな時こそチャーリーおじいちゃん存在が必要なのです。保護者、地域の皆様、私たち教職員とともに、心優しいチャーリーおじいちゃん・おばあちゃんを目指していきましょう。皆で、生徒たちの発する小さなサインを見逃すことなく、皆で見守り、皆で声を掛けていくことが、生徒たちのさらに輝く笑顔に繋がるはず。どうぞ今後とも温かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校